

(数学) 授業計画表

教科名	科目名	単位数	学年・講座	教科書名(発行所)
数学	数学Ⅱ	2	3年1組Ⅱ型	数学Ⅱ Standard (東京書籍)
学習のアドバイス	1 日々の授業を大切にし、課題はその日のうちに仕上げよう。 2 学習内容は既習内容も含んでいるので、必要があれば復習しよう。 3 考査前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 4 休日の家庭学習を充実させ、実力アップを図ろう。			
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 		<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を多面的にみたり論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
	上記の観点を踏まえて、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を観点別に評価し、3観点の評価を総括する。			
	授 業 内 容		時間数	学 習 の ポ イ ン ト
学 期	4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 1 指数の拡張 2 指数関数とそのグラフ		9	○指数法則の拡張や累乗根を理解する。 ○指数関数の値の変化やグラフの特徴と性質を理解する。 ○指数関数の性質を用いて2つの数の大小を判断したり、指数関数を含む方程式、不等式を解く。
	<中間考査> 2節 対数関数 1 対数とその性質 2 対数関数とそのグラフ 3 常用対数		9	○対数の定義や性質を理解する。 ○対数関数の値の変化やグラフの特徴と性質を理解する。 ○対数関数の性質を用いて数の大小を判断したり、対数関数を含む方程式、不等式の解法を理解する。 ○常用対数について理解する。
	5章 微分と積分 1節 微分の考え 1 導関数		15	○平均変化率の図形的な意味を理解する。 ○導関数の定義を理解する。
	<期末考査> 2 導関数の計算			○導関数を利用して、微分係数や接線の方程式を求める。

二期	<p>3 関数のグラフと増減</p> <p>2節 積分の考え</p> <p>1 原始関数</p> <p><中間考査></p> <p>2 定積分</p> <p>3 面積</p> <p>受験対策</p> <p><期末考査></p> <p>受験対策</p>	<p>10</p> <p>14</p>	<p>○関数の増減と導関数の符号の関係を理解する。</p> <p>○極値を調べ、グラフの概形をかく。</p> <p>○関数の増減を方程式の実数解の個数や関数の最大・最小、不等式の証明に活用する。</p> <p>○原始関数について理解し、関数の不定積分を求める。</p> <p>○不定積分を用いて、定積分の値を求めたり、定積分の性質について考察する。</p> <p>○定積分を含む関数や、上端が変数の定積分について考察する。</p> <p>○定積分を利用して直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める。</p> <p>○大学受験対策として、実践演習をする。</p>
	<p>三期</p> <p>受験対策</p> <p><学年末考査></p> <p>家庭学習</p>	<p>13</p>	
総時間数		70	